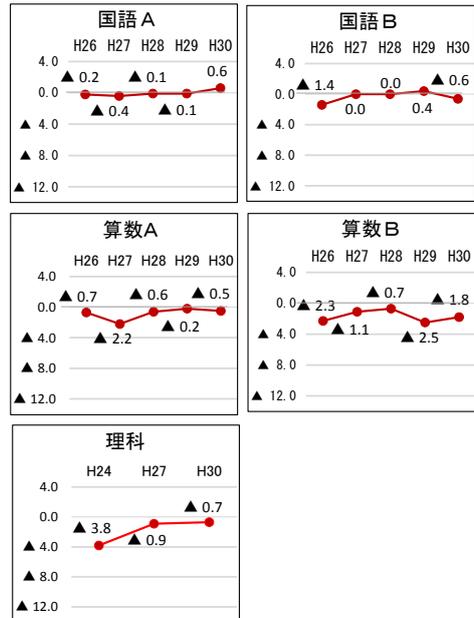


■小学校の状況(学校数:109校、児童数:3749人)

【平均正答率】

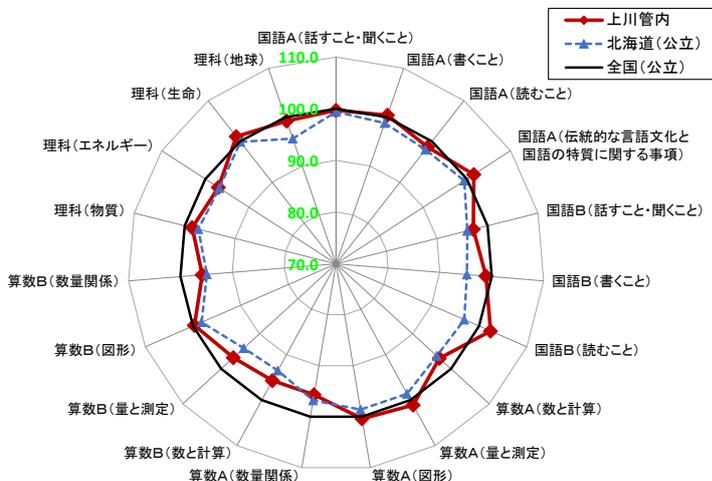
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
上川	71[71.3]	54[54.1]	63[63.0]	50[49.7]	60[59.6]
全国	71[70.7]	55[54.7]	64[63.5]	52[51.5]	60[60.3]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



【教科全体の状況】

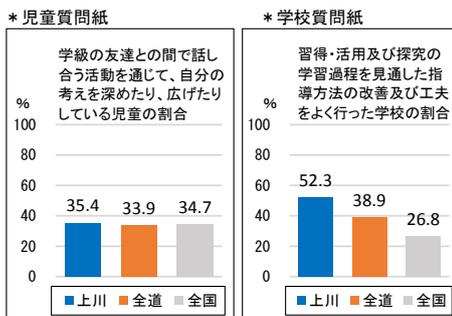
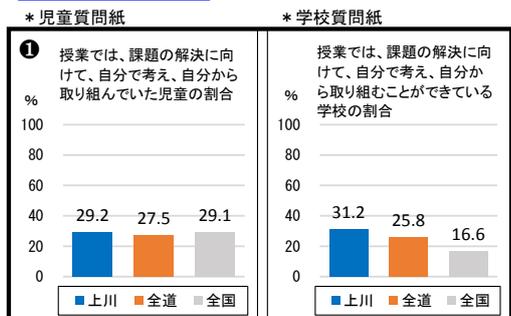
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



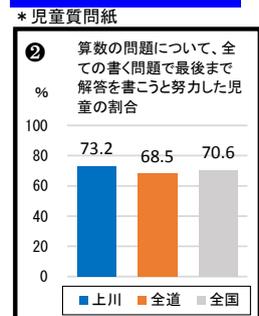
※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

【質問紙の状況】

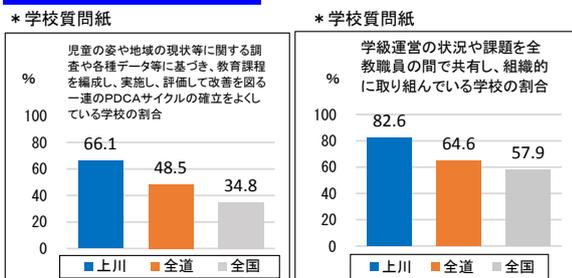
指導方法



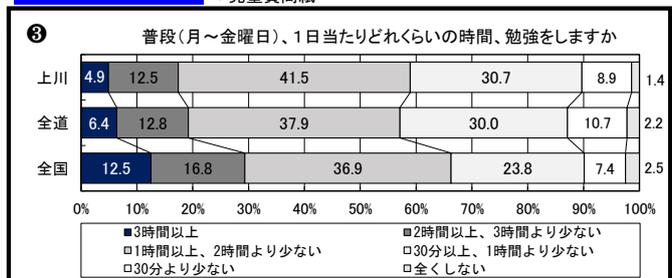
学習意欲



カリキュラム・マネジメント



学習習慣



【分析及び改善の方向性】

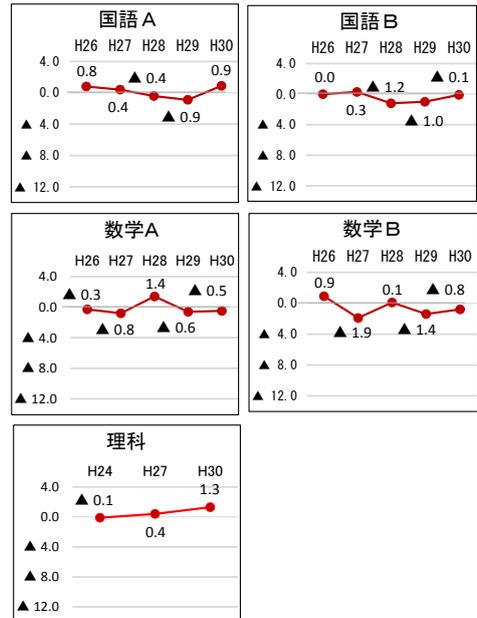
教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国と比較し、国語Aの「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bの「読むこと」、算数Aの「量と測定」「図形」、理科の「生命」で上回っている。</li> <li>○ 全国と比較し、算数Bの全ての領域で下回っている。特に、算数Aの「数量関係」、Bの「数と計算」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。</li> </ul>
質問紙	<p>① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は29.2%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている学校の割合は31.2%であり、いずれも全国を上回っているが、2.0ポイントの差があることから、単元を見通して、見通しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面を設定する必要がある。</p> <p>② 算数の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合は73.2%であり、全国を上回っているが、学習内容の確実な定着を図るため、学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、振り返って次につなげる主体的な学びの実現に向かう授業改善を進める必要がある。</p> <p>③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は58.9%であり、全国を下回っていることから、家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。</p>

■ 中学校の状況(学校数:64校、生徒数:3827人)

【平均正答率】

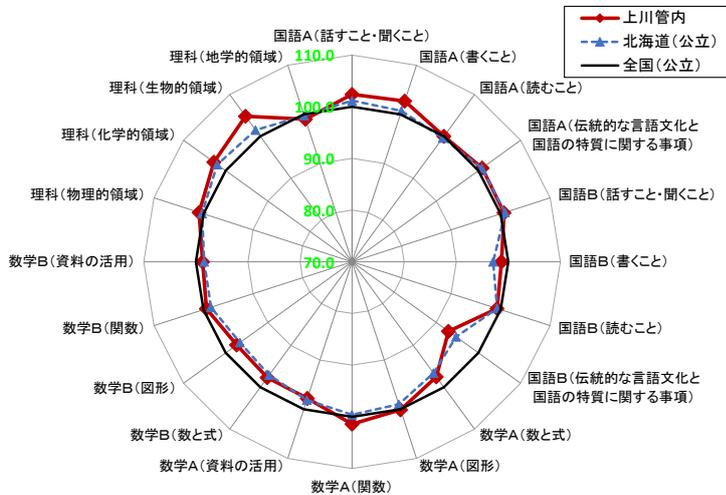
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
上川	77[77.0]	61[61.1]	66[65.6]	46[46.1]	67[67.4]
全国	76[76.1]	61[61.2]	66[66.1]	47[46.9]	66[66.1]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

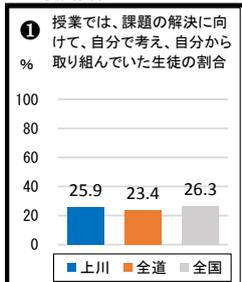


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

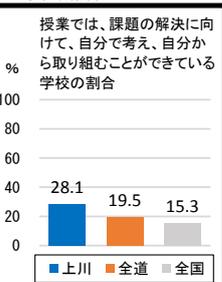
【質問紙の状況】

指導方法

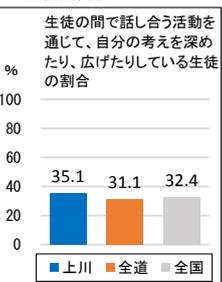
\* 生徒質問紙



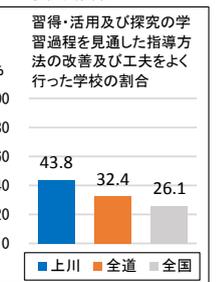
\* 学校質問紙



\* 生徒質問紙

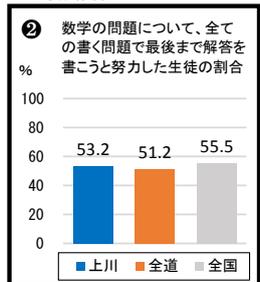


\* 学校質問紙



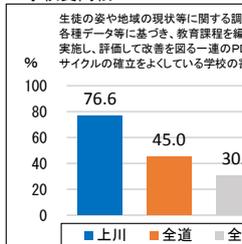
学習意欲

\* 生徒質問紙

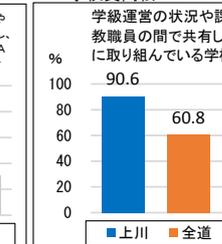


カリキュラム・マネジメント

\* 学校質問紙

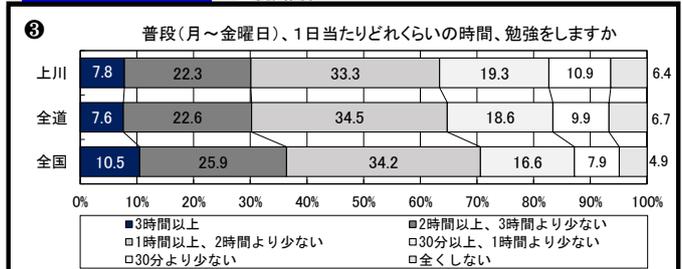


\* 学校質問紙



学習習慣

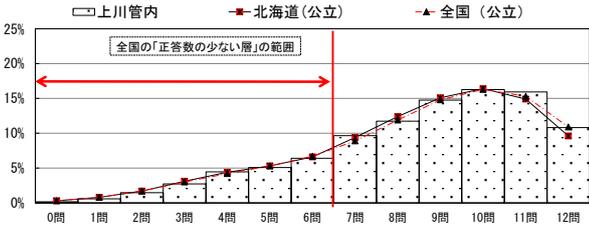
\* 生徒質問紙



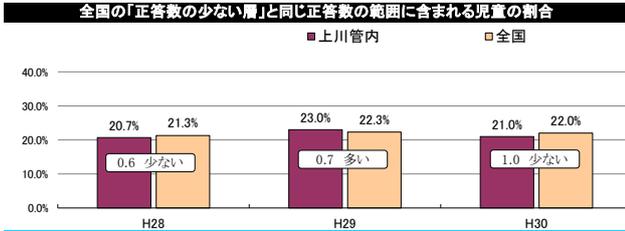
【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国と比較し、国語Aの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bの「話すこと・聞くこと」、数学Aの「図形」「関数」、理科の「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」で上回っている。</li> <li>○ 全国と比較し、数学Bの全ての領域で下回っている。特に、数学Bの「数と式」「図形」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。</li> </ul>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は25.9%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていない学校の割合は28.1%であり、いずれも全国を上回っているが、2.2ポイントの差があることから、単元を見通して、見通しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面などを設定する必要がある。</li> <li>② 数学の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合は53.2%であり、全道を上回っているが、学習内容の確実な定着を図るため、学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、振り返って次につなげる主体的な学びを一層充実する必要がある。</li> <li>③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は63.4%であり、全国を下回っていることから、家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。</li> </ul>

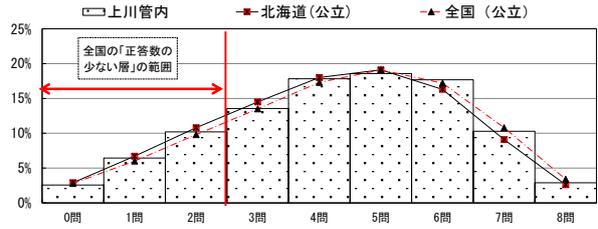
小学校国語 A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,749	8.6 / 12	71.3	9.0	2.6
北海道(公立)	39,610	8.4 / 12	70.1	9.0	2.6
全国(公立)	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7



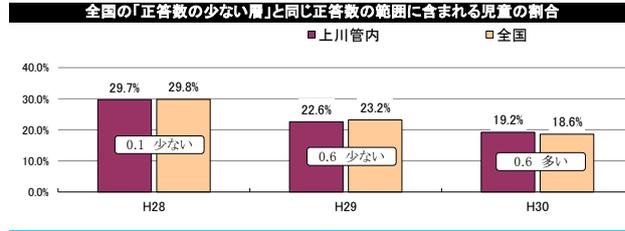
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



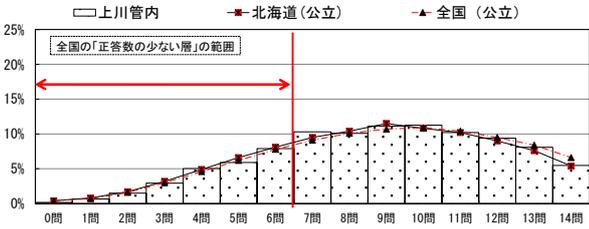
小学校国語 B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,746	4.3 / 8	54.1	4.0	1.9
北海道(公立)	39,599	4.2 / 8	52.7	4.0	1.9
全国(公立)	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9



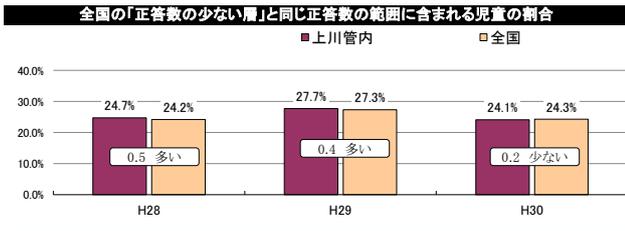
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



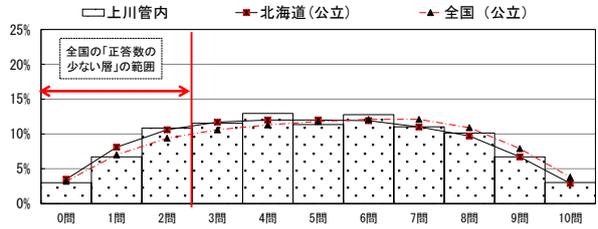
小学校算数 A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,747	8.8 / 14	63.0	9.0	3.1
北海道(公立)	39,610	8.7 / 14	62.2	9.0	3.2
全国(公立)	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2



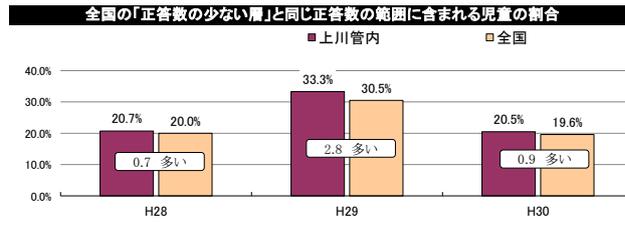
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



小学校算数 B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,745	5.0 / 10	49.7	5.0	2.6
北海道(公立)	39,603	4.9 / 10	48.7	5.0	2.6
全国(公立)	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7



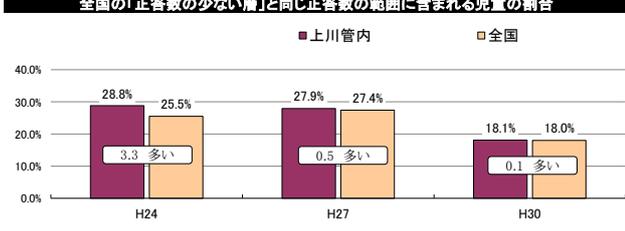
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



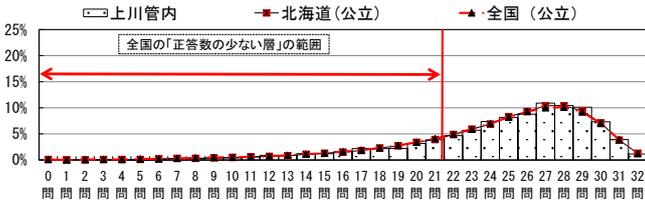
小学校理科					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,749	9.5 / 16	59.6	10.0	3.1
北海道(公立)	39,610	9.4 / 16	58.8	10.0	3.1
全国(公立)	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2



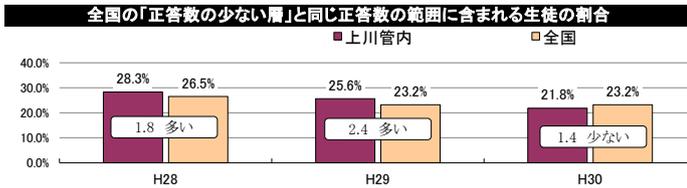
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



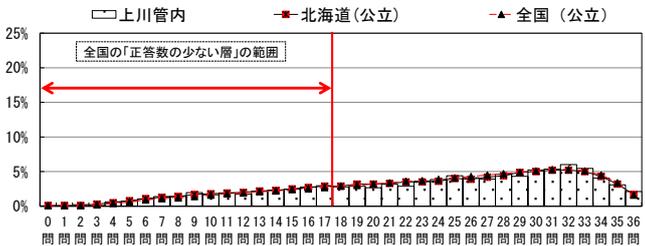
中学校国語A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,827	24.6 / 32	77.0	26.0	5.0
北海道(公立)	39,656	24.5 / 32	76.6	26.0	5.1
全国(公立)	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3



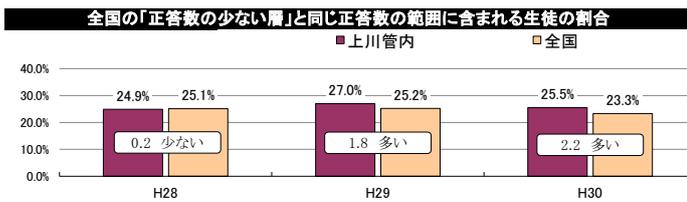
●全国の「正答数の少ない層」は、21問以下の正答数



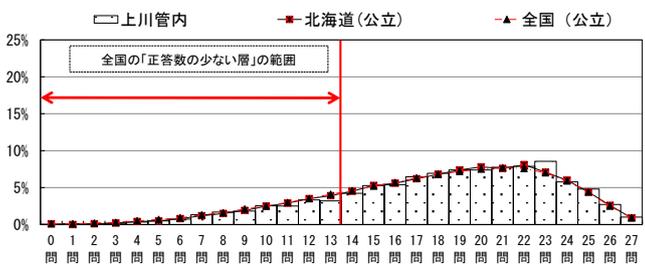
中学校数学A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,825	23.6 / 36	65.6	25.0	8.4
北海道(公立)	39,665	23.4 / 36	64.9	25.0	8.3
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1



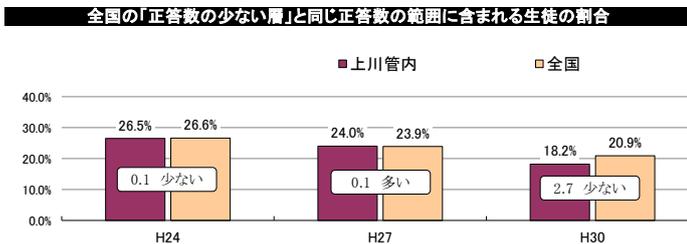
●全国の「正答数の少ない層」は、17問以下の正答数



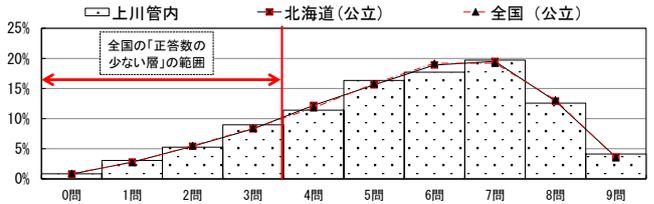
中学校理科					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,830	18.2 / 27	67.4	19.0	5.1
北海道(公立)	39,683	18.0 / 27	66.7	19.0	5.1
全国(公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2



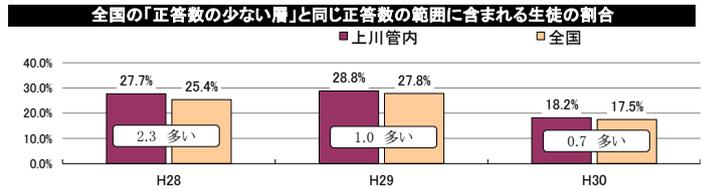
●全国の「正答数の少ない層」は、13問以下の正答数



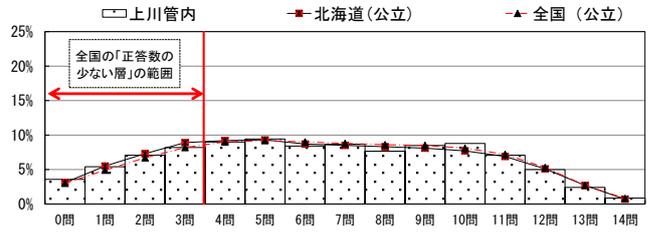
中学校国語B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,824	5.5 / 9	61.1	6.0	2.0
北海道(公立)	39,654	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
全国(公立)	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0



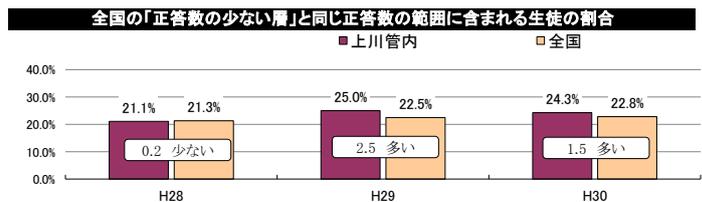
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



中学校数学B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
上川管内	3,829	6.4 / 14	46.1	6.0	3.6
北海道(公立)	39,671	6.4 / 14	45.8	6.0	3.5
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5



●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



【参考】【平成27年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A

上川管内	全国
30.6%	29.4%
全国との差 1.2多い	
H30中3 : 1.4少ない	

小学校国語B

上川管内	全国
26.4%	26.5%
全国との差 0.1少ない	
H30中3 : 0.7多い	

小学校算数A

上川管内	全国
26.0%	21.7%
全国との差 4.3多い	
H30中3 : 2.2多い	

小学校算数B

上川管内	全国
27.1%	25.2%
全国との差 1.9多い	
H30中3 : 1.5多い	

小学校理科

上川管内	全国
27.9%	27.4%
全国との差 0.5多い	
H30中3 : 2.7少ない	